

成瀬小学校にも 本町田ひなた小学校と同様に 小荷物専用昇降機（給食用）の設置を求める請願

【請願の要旨】

2025年9月9日市議会文教社会常任委員会で「成瀬小学校と本町田ひなた小学校の新校舎の基本設計ができた」と報告があったので、情報公開（情報提供）で、その「基本設計」（図面等）を入手しました。

現在でも、車イスの子どもも、通常の学級で学習していますし、インクルーシブ教育の視点の広がりの中で、「基本設計」の図面では、成瀬小と本町田ひなた小の新校舎に共に「エレベーター」が設置されており、これは適切なことと思います。

「エレベーター」の実際に中に入る「内側のスペース」は、成瀬小も本町田ひなた小も、縦215cm・横160cmです。ストレッチャーであれば1台（ゆとりをもって）、車イスは、自分で操作して中に入って向きを変えたりしますからスムーズな動きなら2台でしょうか（4台だと向きを変えにくい時間がかかります）。

本町田ひなた小学校の新校舎には、給食専用の「小荷物専用昇降機」が設置され、各階の「配膳室」につながり、子どもたちの給食がスムーズに行くように動きが工夫されています。

しかし、成瀬小学校の新校舎には、「エレベーター」の大きさは本町田ひなた小と同じなのに、給食専用の「小荷物専用昇降機」が設置されていません。どうしてでしょうか。「エレベーター」が（各階の配膳室につながり）給食でもあるいは子ども（車イス）でもの「兼用」になっています。

成瀬小は、現在、通常学級＝19学級、特別支援学級＝4学級です。

それほど大きくない「エレベーター」と思われますので、続けざまに使用回数が多い給食時（準備と片付け）には、車イスの子が（授業で自分の教室に戻ろうとしたり、他の教室等に移動するのに）中々「エレベーター」に乗れない、あるいはやっとエレベーターに乗っても時間もかかりますから、他の子どもから「大事な給食なのに、その子がエレベーターに乗ると、給食が遅れてしまう」と思われたりもします。場合によっては、いじめられたりします。

私が勤めていた肢体不自由の特別支援学校の「エレベーター」は、一度に車イス8台ほど乗れるほど大型だったので、給食時に介助員さんが運ぶ給食ワゴンと（授業から自分の教室に戻る子ども）車イスと一緒になくても、そんなに待たないで、「エレベーター」に乗っていました。

子どもにとって大事な給食と車イスの子どもの動きを大切にして、成瀬小にも、給食専用の「小荷物専用昇降機」を設置してほしいです。

【請願項目】

- ・成瀬小学校にも 本町田ひなた小学校と同様に 小荷物専用昇降機（給食用）の設置を求めます。